

国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事要旨）

（開催要領）

- 1 日時 令和元年5月17日（金）17:25～17:33
- 2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室
- 3 出席

<WG委員>

座長 八田 達夫 アジア成長研究所理事長
大阪大学名誉教授

委員 阿曾沼 元博 医療法人社団滉志会瀬田クリニック代表

委員 本間 正義 西南学院大学経済学部教授

<自治体>

中島 圭一 福岡市総務企画局企画調整部企画課長

平原 顕治 福岡市総務企画局東京事務所調整係長

<事務局>

森山 茂樹 内閣府地方創生推進事務局次長

蓮井 智哉 内閣府地方創生推進事務局参事官

（議事次第）

- 1 開会
 - 2 議事 平成30年度の福岡市の取組に係る評価について
 - 3 閉会
-

○蓮井参事官 お待たせしました。

それでは、3コマ目でございます。福岡市にお越しをいただいております。「平成30年度の福岡市の取組に係る評価について」でございます。

提出いただきました1枚の紙の資料は公開の扱い、それから、本日の議事の内容についても公開の扱いでよろしゅうございませうか。

○中島課長 公開で大丈夫です。

○蓮井参事官 ありがとうございます。

では、最初に福岡市から御説明いただいた上で御議論ということでお願いしたいと思っておりますので、八田座長、よろしくお願ひいたします。

○八田座長 お待たせしました。

お忙しいところ、お越しくださいますてありがとうございます。

それでは、早速、御説明をお願いいたします。

○中島課長 福岡市です。本日はよろしく申し上げます。この資料に沿って説明をさせていただきたいと思っております。

まず、事実関係ですけれども、平成30年度活用メニューと新規提案ということでリストを並べさせていただいています。活用メニューで言いますと、いわゆる遠隔服薬指導を全国で初活用をしたことを始め、ドローンの特例であったり、近未来実証ワンストップセンターの設置、航空法の高さ制限の認定だったり、退職特例の認定というところで活用メニュー5、認定事業5というところですよ。

新規提案で言いますと、開業ワンストップセンターの設置ですとか、スタートアップビザの在留期間の延長や留学生がスタートアップビザを使えるようにしてほしいという提案、電動キックボードの公道走行を認めてほしいという提案の計4件の提案をしております。

これを踏まえまして、自己評価の欄に移らせていただきます。評価できる点に記載しておりますけれども、認定事業について言いますと5件ということで、去年は4件でしたので、僅かですけれども、メニュー数、認定事業数とも増加をしている。特に、先程全国初とお伝えしましたけれども、5個の中でも遠隔服薬指導に関しては全国初で活用をしたというところが一番特筆すべきところかと思っております。

同じく、認定事業の運用面で言いますと、公務員の退職特例の認定事業者のほうに、全国的に見ても全く転職者が出てこなかった、事業認定を受けただけというところが多かった中で、全国で初めて福岡市職員が転職したという実績を出したところが強調すべき点かと思っております。

続きまして、新規提案に関して言いますと、規制緩和の提案の件数が4件、平成29年度は1件の提案でしたので、平成30年度は比較的多く提案をさせていただいていると思っております。その中で、特に開業ワンストップセンターですけれども、若干切り口の新しい提案をさせていただきました。開業ワンストップセンターは、既存メニューとしては存在していたのですけれども、これまでは東京都のように窓口をずらっと並べるような形の使い方を前提とした制度でしたが、東京都が今提供できる手続について、すべてオンラインで制度上できるようになっておりますので、福岡市としては窓口を置かずにオンライン申請に特化したような形でのワンストップセンターというものを提案しました。年度は跨ぐのですけれども、今年4月の区域会議で事業認定いただきまして、今は開設に向けて調整を進めているところが特筆すべき内容かと思っております。

最後に、過去に提案したものの実現状況ですけれども、平成29年度にスクールソーシャルワーカーについて、事務職員の定数を活用して配置できないかという提案をしまして、これが無事に昨年度、文部科学省からできるという回答をいただいて、実現に至った。また、これはかなり前の話になりますけれども、スタートアップビザを福岡市で提案して実現しておりますが、これが昨年度、経済産業省所管ですけれども、いわゆる全国展開した。これは、自治体認定を受けたところが使えるような制度ですけれども、そこも福岡市が全

国で初めて手を挙げて認定をしていただいたというところで、いわゆるトップランナーとして進めていこうという姿勢で臨んでいると思っています。

最後に、今後の取組方針ですけれども、これまでと同様に、引き続き、メニューの活用、新規提案ともに積極的に行っていきたいと思っていますし、当然メニューの活用にも力を入れますが、特に規制緩和、新規提案のほうに力を入れて、例えば、民間ビジネスの支障となっている規制の緩和とか、そういう観点からの取組に特に力を入れて、今年度はやっていきたいと思っています。

説明は以上です。

○八田座長 どうもありがとうございました。さまざまな積極的な提案や事業をなさって、どうもありがとうございます。

それでは、委員の方から御質問、御意見はございませんでしょうか。

○本間委員 開業ワンストップセンターの利用の実態というか、今どんな感じで動いているのか、件数等々を含めてお話しいただきたいと思います。

○中島課長 開業ワンストップセンターですけれども、区域計画の認定を受け、今、開設前という段階で、7月開設目途で調整を進めているところです。

創業支援施設の中にスタートアップカフェという窓口機能があるのですけれども、そこと併設する形で設置し、カフェに相談に来た人がたくさん創業していますけれども、そういうところを拾って、相談だけではなくて手続面もできるような形でサポート体制を構築していきたいという考え方で進めていこうと思っています。

○本間委員 問合せとかは結構あるのですか。

○中島課長 まだ開設に向けて調整中という段階で、オープンしますということは大々的にリリースしていないので、そこは今後の話かなと思っています。

○八田座長 スタートアップカフェで外国人が創業を提案したということは、随分多いのですか。

○中島課長 スタートアップビザの運用でも、まずは、スタートアップカフェに相談をして、そこから実際に活用する、市の担当へ繋ぐような運用をしていますので、スタートアップビザで言いますと、申請件数は60件以上来ていますので、そういう意味では外国人の創業の入口にもなっています。

○八田座長 阿曾沼先生、どうぞ。

○阿曾沼委員 今の海外の話は私も聞きたいと思っていたので、私からは特にありません。

○八田座長 それでは、すべてうまく行っているということですね。

事務局から何かありますか。

○蓮井参事官 では、すべてうまく行っているということで御了解いただければと思います。引き続き、より良い案件の発掘と計画の認定で、福岡市は大変積極的にやっておられますけれども、まだそんなに使っておられないメニューもあつたりするかと思いますので、そのあたりも含めて、是非前向きに御活用いただければと思います。

○中島課長 事務局や委員の先生方の御協力も仰ぎながら進めていきたいと思っておりますので、
よろしく申し上げます。

○八田座長 どうもありがとうございました。